【 令和２年度に完成した事業 】

〈砂防事業〉

多田（ただ）川（多可郡多可町）

山ノ神（やまのかみ）川（佐用郡佐用町）

赤崎（あかさき）川（美方郡新温泉町）

〈急傾斜地崩壊対策事業〉

船坂（ふなさか）（４）地区（西宮市）

坊勢（ぼうぜ）（３）地区（姫路市）

大明神（だいみょうじん）地区　（養父市）

（３）堆積土砂撤去の推進

令和元年東日本台風（19号）では河川氾濫等の大規模な浸水被害等が相次いだことを受け、国が令和２年度からの５年間の措置として緊急浚渫推進事業債を創設した。

本県の砂防施設においても、本事業債を活用し、砂防堰堤の背面に土砂が堆積し、上流で新たな土石流が発生した際に人家等に被害が及ぶおそれがある箇所について、事前防災の観点から砂防堰堤背後の堆積土砂を撤去し、土砂捕捉空間を確保する。

	R2	R3	R4	R5	R6	合計
事業費（億円）	5	5	3	2	2	17
実施箇所数	23	約 20	※			

※ R4～R6の実施計画は、R2年度の施設点検の結果を踏まえ今年度中に策定

トピックス⑦　**砂防堰堤の種類と効果**

砂防堰堤の型式には、透過型、部分透過型、不透過型の３種類があり、過去の土砂災害における流木被害等を踏まえ、流木対策の強化を目的として透過型・部分透過型の堰堤が基本となっています。ただし、小さな礫しかない渓流や人家が近い渓流など透過構造を採用できない場合には、不透過型を用いることとしています。

【透過型堰堤・部分透過型堰堤】県下約 190 基

平常時は水と土砂は下流へ流れるが、土石流が発生した際には、大きな岩や流木などを含む土砂は堰堤に引っかかって止まり、下流への流出を防止する。

透過型

部分透過型

効果

【不透過型堰堤】県下約 2,780 基

土砂が貯まって満杯になることで安定勾配となる。土石流発生時には、一時的に土砂を貯留し、一気に下流へ流出することを防ぐ。（貯留した土砂は徐々に下流へ流される。）

（４）六甲山系グリーンベルト整備事業

① 事業の概要

阪神･淡路大震災により六甲山地で山腹崩壊が多数発生したことを受け、「土砂災害の防止」､「無秩序な市街地の拡大防止」､「安全に自然と親しめる場の提供」等を目的として、樹林整備や砂防堰堤、斜面対策工等の整備を行っている。

表六甲山麓約1,600haの区域を対象に、国と県が分担して取り組んでおり、県は５地区約450haの整備を担当している。

② 事業の実施内容

ブロック名	令和３年度の主な取り組み
武庫川	本工事（砂防堰堤工）、樹林整備、用地買収
観音寺	（平成21年度　完成）
中尾谷	本工事（斜面対策工）、樹林整備、用地買収
追　谷	（未着手）
塩屋谷	本工事（斜面対策工）、用地買収

武庫川ブロック
塩谷川砂防堰堤(R2 年 3 月完成)

（５）砂防関係施設の老朽化対策（ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画）

砂防関係施設は土砂災害防止の機能を有する重要な社会資本であり、県民の安全・安心を確保するには、既存施設の劣化を防止し、所定の機能及び性能を長期にわたり維持・確保し続ける必要がある。

このため、施設の維持、修繕、改築、更新などの維持管理を適切に行っていく。

① 計画概要

平成27年度に「砂防設備」、「地すべり防止施設」、「急傾斜地崩壊防止施設」の砂防関係３施設を「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」に位置づけ、平成28年度から計画的・効率的に老朽化対策を推進している。

② 対策方針

平成31年３月末時点で「早期対策（特Ａ）」14箇所、「要対策（Ａ）」36箇所については対策を完了しており、令和元年度～令和10年度を計画期間とする10箇年計画においては、残る「要対策（Ａ）」241箇所について引き続き対策を進める。

【ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画（R元～R10）】

施設	総数（箇所）	10年間で取り組む箇所数	内訳（着手予定箇所数）	
			令和３年度まで	令和４年度以降
砂防設備	3,115	141	56	85
地すべり防止施設	98	16	8	8
急傾斜地崩壊防止施設	952	84	29	55
合計	4,165	241	93	148

③ 計画の見直し

令和２年度に実施した砂防関係施設の健全度調査（施設点検）の結果を基に、今年度計画の見直しを行う。

早期対策（特Ａ）の事例

地すべり防止施設　柤岡（けびおか）地区（美方郡香美町村岡区柤岡）

アンカー工が変状するなど災害防止機能が低下（対策前）

アンカー工を増設することにより災害防止機能を向上（対策後）

トピックス⑧　堰堤の完成を地域が祝う

県下で砂防堰堤の整備による地域の安全・安心の向上を祝う完成式が地元主催で実施され、地元選出県議会議員にもご出席いただきました。

1　赤崎川堰堤（新温泉町赤崎）

主　催　地元自治会
開催日　令和3年3月22日

〔新聞記事掲載〕
令和3年3月24日　日本海新聞
令和3年3月27日　神戸新聞

式典写真

2　小野川堰堤（宍粟市波賀町小野）

平成30年7月豪雨災害による災害関連緊急砂防事業
主　催　地元自治会・兵庫県
開催日　令和2年3月15日

式典写真

トピックス⑨　平成 30 年 7 月豪雨宍粟市災害復旧記念式典の開催

平成30年７月豪雨から３年が経ち、国・県・市が一丸となって進めてまいりました復旧工事が概ね完成したことから、地域住民をはじめ、事業に携わった関係者が一堂に会し、災害を振り返るとともに復旧を祝うため、記念式典を開催します。

主　催　兵庫県・宍粟市
開催日　令和3年7月10日（土）

【 被災時の状況 】

【高野川 災害関連緊急砂防事業（県施工）】